令和４年度事業報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

当協会は、内閣府の認定を受けた公益社団法人であり、「近畿地区において、海の恩恵を始めとする海事思想の普及宣伝を行い、もって一般国民の海事に関する知識の啓発を図り、あわせて海事産業の発展を期することにより、平和を希求する海洋国家日本の経済社会の維持発展と国民生活の安定向上に寄与すること」を目的としています。

近畿運輸局をはじめ、関係機関・関係諸団体・関係業界各位並びに会員の皆様方のご支援のお陰をもちまして、令和４年度の公益目的事業等を実施することができましたので、その概要をご報告申し上げます。

Ⅰ、公益目的事業

１、体験活動等（公益目的事業区分４）

（１） 船との出会い事業「海の教室」

四面環海で海からの恵みを受け、国民生活の基盤を海外との貿易・海上輸送に依存しているわが国では、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業の果たすべき役割が極めて重要であり、青少年や一般市民のみなさんに海事産業の重要性を理解してもらい、海に対する関心を高めてもらうことが不可欠です。

特に若い世代の海への理解を深めるとともに教育現場の理解を得るため、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業「船との出会い事業」と連携し、「公益財団法人日本海事センター補助事業」の助成金・補助金を受け、関係団体・事業者・学校・教育委員会などの協力を得て、各種船舶の乗船体験、船舶・港湾・造船所・倉庫・海洋博物館など海事産業関連施設の見学を行う体験型学習会「海の教室」を近畿運輸局との共催により実施しています。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止対策が実施されている中での事業となりましたので「（公財）日本海事広報協会及び(公社)各地方海事広報協会主催等のイベントにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン（令和 2 年６月１日(公財)日本海事広報協会作成）」に基づき、イベントスタッフ及び参加者への新型コロナウイルス感染拡大を防止するための対策を実施しました。

また、昨年度の事業として、港にある海事産業施設の場所を掲載した「海事産業施設マップ（大阪港）」を、表面にマップ、裏面には港の雑学やクイズを掲載する仕様で制作しましたので、このマップを体験乗船会で活用しています。

なお、今年度の事業では「海事産業施設マップ（京都舞鶴港）」を製作し、次年度以降、旅客船事業者などと連携し活用していく予定です。

1.　乗船体験会及び海事産業関連施設見学会

月日	実施内容	実施場所	参加者	
7 月 18 日	キッズボート乗船体験会＆広報グッズ配布	大阪府泉佐野市	地元小学生 29 名＋保護者 8 名	37　名
9 月 7 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立柏里小学校 3 年生 44 名＋先生 4 名	48　名
10 月 5 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	市岡小学校2年生（35 名）＋先生（4 名）	39　名
10 月 6 日	和歌山県紀南地区「乗船体験会」＆「海事施設見学会」	和歌山県那智勝浦町他	串本市立串本小学校 5.6 年生（35 名）＋先生（5 名）	40　名
10 月 7 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立都島小学校 3 年生（61 名）＋先生（5 名）	66　名
10 月 13 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	南市岡小学校3年生（54 名）＋先生（4 名）	58　名
10 月 14 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立海老江西小学校 1.2 年生（56 名）＋先生（6 名）	62　名
10 月 21 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立晴明丘南小学校 3.4 年生（114 名）＋先生（8 名）	122　名
10 月 28 日	和歌山県紀南地区「乗船体験会」＆「海事施設見学会」	和歌山県串本町	古座川町立三尾川小学校 1.3.4.6 年生（6 名）＋先生（5 名）	11　名
11 月 6 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	NASVA 交通遺児者等	16　名
11 月 11 日	和歌山県紀南地区「乗船体験会」＆「海事施設見学会」	和歌山県串本町	串本町立出雲小学校 4.5.6 年生（14 名）＋先生（5 名）	19　名
11 月 12 日	海技大学「海技丸」体験航海	兵庫県芦屋市	工業系高校生・教諭 18 名	18　名
11 月 19 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	NASVA 交通遺児者等	20　名
11 月 24 日	和歌山県紀南地区「乗船体験会」＆「海事施設見学会」	和歌山県那智勝浦町他	串本町立西向小学校 4.5 年生（17 名）＋先生（3 名）	20　名
12 月 1 日	「サンタマリア号」乗船体験会	大阪府大阪市	大阪市立築港中学校全生徒 57 名＋先生 15 名	72　名
実施回数　15　回			計	648　名

２、海の日キャンペーン・海の月間（公益目的事業区分８）

（１）「海の日」・「海の月間」関連行事広報事業

国民の祝日「海の日」を迎えるに当たり、国土交通省主唱の下、各地で実施される「海の月間」には、各関係機関のご支援並びに関係諸団体のご協力をいただきました。

大阪地区では「海の月間実行委員会」を新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面により開催し、各運輸支局・海事事務所所在地においても関係団体が連携し、青少年をはじめ広く一般市民の海の恩恵に対する関心を高め、海や海事産業の重要性を認識してもらうことを目的とした催しが新型コロナウイルス感染拡大防止対策を実施して行われました。

当協会は、公益財団法人日本海事広報協会からの受託事業である「海の日」・「海の月間」関連行事広報と連携し、近畿地区で行われる各種イベントについて令和４年「海の月間」行事案内を作成し当協会ホームページやフェイスブックに掲載するとともに、関係団体が開催する「海の日」・「海の月間」行事と連携して広報資料や海の日グッズを配布するなど、国民の祝日「海の日」（海の恩恵に感謝するとともに、海洋国日本の繁栄を願う日）の意義を理解してもらうための広報活動として行いました。

（２）「海の日」表彰候補者の推薦と「海の日」表彰式典・祝賀会

令和４年「海の日」にあたり、大阪では、7 月 20 日(水)に海遊館ホールにおいて、近畿運輸局・大阪海上保安監部の主催による海事関係功労者表彰式典が新型コロナウイルス感染防止対策を施したうえで参加人数を制限して開催されました。引き続き、海事産業の重要性を再認識するための啓発活動の一環として、各種関係団体のご協賛をいただき、当協会主催による「海の日祝賀会」をホテルシーガルてんぽーざん大阪において開催し、受賞者を中心に同伴家族・行政・報道・海事関係者の皆様方とともに、国民の祝日「海の日」をお祝いすることにより、海事産業の業務に精励してこられた方々への感謝を表すとともに、「海の日」の意義が広く一般市民に理解され定着することを願い海事広報活動を行いました。

また、舞鶴・和歌山・勝浦の運輸支局・海事事務所においても、それぞれ関係者のご出席をいただき海事関係功労者表彰式等が行われました。

当協会は、「海の日」表彰候補者の推薦について広く一般に周知するとともに、「海をきれいにするための一般協力者の奉仕活動表彰」の推薦と、海事関係事業の従事者として永年勤続された方々の「海事関係功労者表彰」候補者の推薦を行ないました。

当日、海事関係功労者表彰の栄に輝かれた方々は、いずれも多年にわたり海事関係の業務に従事され功績のあった方々であり、受賞者の内訳は、国土交通大臣表彰 6 名、国土交通大臣（感謝状）1 名、近畿運輸局長表彰 64 名、海上保安庁長官（感謝状）17 名、第五管区海上保安本部長（感謝状）15 名、第八管区海上保安本部長（感謝状）2 名の方々でした。

３、表彰、コンクール（公益目的事業区分１４）

（１）第 59 回中学生海の絵画コンクール

わが国は、海からの恵みを受け、国民生活の安定向上と産業活動の維持発展の基盤を、海外貿易と海上輸送に依存する四面環海の国であり、海運・造船・舶用工業・港湾・物流などの海事産業の働きは極めて重要です。

このため、次代を担う中学生から「海の絵画」を募集することにより、海事

に関する関心を高め、海事知識を深めてもらうことを目的に、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援を得て実施しました。

本年も近畿各地の中学校・絵画教室（約 1,100 校）及び関係先に募集チラシを配布し、船舶・港・海の生物・海や船で働く人・海の環境保全など海を自由に表現した絵画を募集しました。

昨年に引き続き、今年もコロナ禍の中にもかかわらず、27 校・186 点の応募がありました。

審査は、山中卓・平井洋子先生を中心に審査会を開催し、金賞 1 点（近畿運輸局長賞）・特別賞 1 点（大阪海上保安監部長賞）・銀賞 2 点（大阪府知事賞・大阪市長賞）・銅賞 6 点（近畿海事広報協会会長賞）・佳作 30 点（同）、計 40 点の受賞を決定し、受賞作品を当協会ホームページ・フェイスブック及び機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、金賞・特別賞・銀賞・銅賞・佳作の受賞者に対する賞状・賞品と参加者への参加賞を各中学校に送付しました。

金賞（近畿運輸局長賞）には、泉大津市立誠風中学校 2 年・笠井梨那さんの「にぎやかな海」、特別賞（大阪海上保安監部長賞）には、西宮市立浜甲子園中学校 1 年・今村沙菜さんの「見たい。守りたい。いにしえから繋ぐ海」、銀賞（大阪府知事賞）には、泉大津市立誠風中学校 3 年・長尾和奏さんの「Dance with octopus」、銀賞（大阪市長賞）には、大阪市立西淀中学校 1 年・井上さくらさんの「見えた世界は」が受賞しました。

また、2016 年度より全国中学生絵画コンクール（主催：公益財団法人日本海事広報協会）と統合された、第 50 回「我ら海の子展」（主催：一般財団法人サークルクラブ協会・公益社団法人日本海洋少年団連盟）中学生の部に、全ての応募作品を団体として応募しました。

「我ら海の子展」の東京で行われた審査会において、京都市立西院中学校 2 年・寄友脩聖さんの「海の銀河」が「銀賞」を受賞し、大阪市立下福島中学校 1 年・藤瑞歩さんの「Splash of hope」が「佳作」を受賞しました。

なお、第 50 回「我ら海の子展」受賞作品展は、銀座ギャラリー・国土交通省 1 階ロビーなどで開催されました。

（２）第 56 回中学生海の作文コンクール

中学生海の絵画コンクールと同様に、次代を担う中学生に海や船に対する関心を深めてもらうため、近畿運輸局、大阪府教育委員会、大阪市教育委員会、（株）日本海事新聞社の後援を得て、本年も近畿各地の中学校約 1,100 校及び関係先に募集チラシを配布し、海や船などを題材とする作文を募集したところ、14 校 314 点の応募がありました。

審査を高田文月先生（大阪文学学校講師）にお願いし、金賞 1 点（近畿運輸局長賞）・銀賞 3 点（近畿海事広報協会長賞）・銅賞 6 点（同）・佳作 30 点（同）、計 40 点の受賞を決定しました。

金賞は、近畿大学附属和歌山中学校 1 年・宮崎瑠生さんの「海の救世主」、銀賞は、桃山学院中学校 1 年・仲野晶惺さんの「海を守ろう　私たちと海の関係」、近畿大学附属和歌山中学校 3 年・芝　奏太さんの「「今」だけではなく

「これから」を考える」、高槻市立川西中学校２年・中野美輝さんの「「魚を買う」という日常に」が受賞しました。

上位 10 点の受賞作品については、当協会機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに、全受賞作品を当協会ホームページ及びフェイスブックで公表し、受賞者に対する賞状・副賞と応募者への参加賞を各中学校に送付しました。

（３）第 44 回海の写真コンクール

「海の日」・「海の月間」関連行事の一つとして、海・船・港・海運・造船等の海事産業への関心を深め、海事知識の啓発・向上を図るため、湖・川・魚などを含め広く海に関係するテーマの写真を、地域・年齢などは問わず全国から募集しました。

この事業は、近畿運輸局、大阪海上保安監部、大阪府、大阪市、大阪商工会議所、(公財)関西・大阪２１世紀協会、(株)海遊館、(一社)日本長距離フェリー協会、(一社)日本海事代理士会、(株)日本海事新聞社、(株)海事プレス社の後援のもと、(公財)海上保安協会大阪支部、(一社)大阪府港湾協会、(公社)大阪港振興協会、大阪写真組合、近畿旅客船協会の協賛と、大阪水上バス(株)、近江トラベル(株)、(株)サンスターライン、四国開発フェリー(株)、新日本海フェリー(株)、太平洋フェリー(株)、南海フェリー(株)、阪九フェリー(株)、琵琶湖汽船(株)、(株)フェリーさんふらわあ、宮崎カーフェリー(株)、(株)名門大洋フェリーの各船社からの協力を得て実施しました。

本年もホームページでの広報や関係先への募集チラシの配布により、海をテーマとした写真を募集したところ、全国各地より 359 名、1,252 点の応募があり、塚田澄子先生（全日本写真連盟関西本部委員）を中心に後援団体の代表者を交えた審査員による審査会を開催し、推薦 1 点・特選 2 点・特別賞 2 点・準特選 6 点・入選 29 点、計 40 点の受賞を決定しました。

推薦（近畿運輸局長賞）は山内勝さん（兵庫県）の「大きな初荷」、特選の（大阪府知事賞）は工藤嘉晃さん（大阪府）の「冬空と燈台」、（大阪市長賞）は竹下邦茂さん（大阪府）の「天保山埠頭」、特別賞の（大阪海上保安監部長賞）は田中泰一さん（兵庫県）の「黄昏の湾口」、（(一社)日本長距離フェリー協会会長賞）は出口慎也さん（北海道）の「夢、搭載中。」、準特選の（大阪商工会議所会頭賞）は宮田敏幸さん（兵庫県）の「記念写真」、（(公財)関西・大阪２１世紀協会理事長賞）は上杉孝徹さん（香川県）の「黄昏」、（(株)海遊館社長賞）は安藤聖子さん（大阪府）の「薄暮の頃」、（(株)日本海事新聞社社長賞）は伊藤賢治さん（兵庫県）の「只今、格闘中」、（(株)海事プレス社長賞）は斎藤雄宰睦さん（岡山県）の「海を見守るモニュメント」、（(一社)日本海事代理士会会長賞）は小池祥弘さん（兵庫県）の「帰港」が受賞しました。

全ての受賞作品を当協会の機関紙「近畿海事広報協会たより」に掲載するとともに当協会ホームページとフェイスブックで公表しました。

また、一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業である「ボートレース場等を活用したイベント」として、ボートレース場・ボートピアにおいて「第 44 回海の写真コンクール受賞作品展」を次のとおり開催しました。

1. 「住之江ボートレース場」
   実施時期　　令和４年10月１日（土）～11月15日（火）
   入場者数　　来場者　127,451人（昨年99,724人）
2. 「びわこボートレース場」
   実施時期　　令和４年10月１日（土）～11月15日（火）
   入場者数　　来場者　31,551人（昨年31,584人）
3. 「ボートピア梅田」
   実施時期　　令和４年10月１日（土）～11月15日（火）
   入場者数　　来場者　20,505人（昨年15,745人）
4. 「ボートピア京都やわた」
   実施時期　　令和４年10月１日（土）～11月15日（火）
   入場者数　　来場者　32,502人（昨年33,768人）

４、上記の事業区分に該当しない事業（公益目的事業区分１８）

（１）海事知識の普及事業

一般財団法人日本モーターボート競走会からの受託事業として、「海の日」・「海の月間」関連行事やボートレース場等で行われているイベント会場において、小中学生を中心とした児童向けの海事知識普及のための資料や海の日グッズなどの配布を行なうことにより、海事知識の普及事業を実施しました。

1. 海の月間にあわせた海事知識の普及事業
   実施時期　　令和４年７月１日(金)～31日（日）
   実施場所　　大阪府大阪市「住之江ボートレース場・ボートピア梅田」・
   参加者数　　ファン入場者数　59,271人・9,443人
2. びわこファミリーカーニバル2022「ペアボート試乗会」「びわこ少年少女ゴムボート大会」における海事知識の普及事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
3. ボートピア京都やわた・キッズルームにおける海事知識の普及事業は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。
4. 2022住之江フェスティバル（ボートレースブース）における海事知識の普及事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

Ⅱ、その他事業（相互扶助等の事業）

１、他団体との連携事業と海事広報宣伝物等の発行・配布

（１）他団体との連携事業

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となる行事もありましたが、海事関係の各種団体と積極的に連携し、次の行事の共催・協賛・後援等を行ないました。

1. 大阪港港湾功労者表彰式における被表彰者の推薦（今年度は該当者なし）
2. 海の日海上安全祈願祭（大阪船主会・(公財）海上保安協会大阪支部）共催

3. 令和４年度「海の日」記念行事（海南下津港湾協会）の協力
4. 第46回マリンスクール（(株)串本海中公園センター）の後援
5. 第68回大阪地方海事団体硬式庭球大会(大阪地方海事団体硬式庭球大会運営委員会）の後援
6. 令和４年度「白浜第一小学校・第二小学校５年生への出前授業」(全日本海員組合大阪支部）の後援
7. 新年海上安全祈願祭（大阪船主会・(公財）海上保安協会大阪支部）の共催
8. 第14回MINATO天保山まつり2022に出展された「内航海運の明日を考える会（大阪海運組合）等」ブースで「マジで航海してます。DVD」を配布
9. 研究・イノベーション学会関西支部　第５回（通算178回)研究会の後援
「脱炭素の取り組み―海事政策の取り組みから―」の後援
10. フェリーさんふらわあに「ぼくとわたしのSHIP GUIDE」「マジで航海してます。DVD」を配布（通年ATC展示会、令和５年２月18日フェリーわくわく体験セミナーでの活用等)
11. 株式会社はちけんや、NPO法人大阪水上安全協会、「八軒家浜」水辺の賑わい創出事業事務局、大阪海運組合と連携し、桜のシーズンで賑わう令和５年３月21日から４月10日まで「川の駅はちけんや」において、第44回海の写真コンクール受賞作品（上位12作品）及び第59回中学生海の絵画コンクール受賞作品（上位10作品）の複製をパネル展示するとともに、青少年を中心とした一般市民に対して海事知識の普及を図るため、海事広報チラシ・グッズを配布。

（２）会議等

1. 令和４年５月10日（火）　於：大阪市　第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会監査
2. 令和４年５月19日（木）　於：大阪市　日本船舶職員養成協会近畿
（一財）日本船舶職員養成協会近畿第11回評議員会
3. 令和４年５月25日（水）　於：大阪市　第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和４年度第１回理事会
4. 令和４年６月６日（月）　於：大阪市　大阪港勤労福祉会館
(一財)大阪港湾福利厚生協会令和４年度定時評議員会（総会)
5. 令和４年６月16日（木）　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
6. 令和４年６月21日（火）　於：大阪市　近畿運輸局
近畿若年内航船員確保推進協議会令和４年度協議会
7. 令和４年６月23日（木）　於：大阪市　近畿運輸局
第59回中学生海の絵画コンクール審査会
8. 令和４年６月28日（火）　於：大阪市　第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和４年度定時総会
9. 令和４年６月30日（木）　於：大阪市　近畿運輸局
第44回海の写真コンクール審査会
10. 令和４年７月６日（水）　於：大阪市　当協会事務所Zoom会議
令和５年度事業等について日本海事広報協会との意見交換会

11. 令和４年７月 13 日（水）　　於：大阪市　近畿運輸局
「海事関係功労者表彰式典・海の日祝賀会」打ち合わせ会
12. 令和４年７月 19 日（火）　　於：大阪市　住吉大社
令和４年「海の日」海上安全祈願祭
13. 令和４年７月 20 日（水）　　於：大阪市　海遊館ホール・ホテルシーガルてんぽーざん大阪
令和４年海事関係功労者表彰式典・「海の日」祝賀会
14. 令和４年７月 21 日（木）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
15. 令和４年８月 18 日（木）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
16. 令和４年８月 30 日（火）　　於：神戸メリケンパークオリエンタルホテル
第 30 回海事立国フォーラム in 神戸 2022
17. 令和４年８月 31 日（水）　　於：大阪市　大阪商工会議所
第５回情報・通信部会
18. 令和４年９月 15 日（木）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
19. 令和４年 10 月 17 日（月）　　於：大阪市　当協会事務所オンライン参加
運輸事業の安全に関するシンポジウム 2022　（国土交通省）
20. 令和４年 10 月 25 日（火）　　於：大阪市　築港高野山釈迦院
第 47 回大阪港湾労働殉職者合同慰霊祭
21. 令和４年 10 月 25 日（火）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興協会講演会
22. 令和４年 10 月３日（月）～11 月７日（月）　　於：大阪市　大阪文学学校
第 56 回中学生海の作文コンクール審査
23. 令和４年 11 月 15 日（火）　　於：和歌山県湯浅町　湯浅醤油工場
大阪港振興倶楽部令和４年度会員見学会
24. 令和４年 11 月 17 日（木）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
25. 令和４年 11 月 20 日（日）　　於：大阪市　天保山西岸壁
第 14 回 MINATO 天保山まつり
26. 令和４年 11 月 24 日（木）　　於：大阪市　当協会事務所 WEB 参加
「小型船舶に対する検査方法の見直しに関する説明会」（日本小型船舶検査機構）
27. 令和４年 12 月７日（水）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
講演会「コンテナターミナルにおける革新的技術の導入」
28. 令和４年 12 月 15 日（木）　　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会
29. 令和４年 12 月 23 日（金）　　於：東京都　海事センタービル
令和４年度全国海事広報協会事務局長会議
30. 令和４年 12 月 27 日（火）　　於：大阪市　天保山岸壁
ルミナス神戸２による大阪湾海上交通の充実に向けたモニターツアー
31. 令和５年１月 11 日（水）　　於：大阪市　さんふらわあターミナル

「さんふらわあ　くれない」内覧会

32. 令和５年１月 12 日（木）　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部「新年祝賀交歓会」

33. 令和５年１月 16 日（月）　於：大阪市　近畿運輸局
間嶋会長　近畿運輸局局長及び次長へ新年挨拶

34. 令和５年１月 19 日（木）　於：大阪市　住吉大社
令和５年新年海上安全祈願祭

35. 令和５年２月７日（火）　於：大阪市　平野区民センター
研究・イノベーション学会関西支部　第５回（通算 178 回)研究会
「脱炭素の取り組み―海事政策の取り組みから―」

36. 令和５年２月８日（水）　於：大阪市　大阪港勤労福祉会館
特別講演「2023 年の世界と日本を考える」

37. 令和５年２月 16 日（木）　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会

38. 令和５年３月 10 日（金）　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部令和５年度通常総会

39. 令和５年３月 16 日（木）　於：大阪市　第一大阪港ビル
大阪港振興倶楽部午餐会

40. 令和５年３月 27 日（月）　於：大阪市　第一大阪港ビル
(公社)大阪港振興協会令和４年度第２回理事会

41. 令和５年３月 29 日（水）　於：大阪市　ハイアットリージェンシー大阪
(一財)大阪港福利厚生協会創立 80 周年記念祝賀会

（３）海事広報宣伝物等の発行・配布

海洋環境について理解を深め、海や海事産業に親しみを深めてもらうため、(公財)日本海事広報協会をはじめとする海事関係団体等で作成された冊子・パンフレットなどの海事知識普及資料や海の日グッズ等を各種イベント参加者に配布しました。

主な海事広報宣伝物等の発行・配布は次のとおりです。

1. 近畿海事広報協会たより（1 月・7 月の年２回発行）
2. 海上の友（毎月１回配布）
3. 日本の海運 SHIPPING NOW2022-2023（中学校等へ配布）
4. 海の日グッズ等（各種イベント等で作成・配布）
5. 2023 世界の帆船カレンダー（会員・関係者へ作成・配布）

Ⅲ、庶務事項

（１）総　会

令和４年５月 16 日（月）　於：大阪市　ホテルプリムローズ大阪

1. 令和３年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 役員の任期満了に伴う改選に関する件

（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、欠席し書面による議決権の行使

を活用いただき、普通会員総数 204 名中、書面による議決権行使 163 名、出席 28 名で開催した。）

（２）理事会

①　令和４年４月 18 日（月）　【書面による理事・監事全員の同意】

1. 令和３年度事業報告及び決算の承認に関する件
2. 会員資格取得（入会）の承認に関する件
   田畑浩一氏・角谷敬二郎氏の入会を承認
3. 令和４年度通常総会招集の承認に関する件
4. 顧問等委嘱の承認に関する件
   顧問等の人事異動に伴い、大阪港湾局長の丸山順也氏を参与に委嘱することを承認

②　令和４年５月 16 日（月）　於：大阪市　ホテルプリムローズ大阪

1. 会長、副会長及び専務理事の選定に関する件
   会長に間嶋弘氏を、副会長に堀正直氏・森下貴史氏を、専務理事に中西章夫氏を選定
2. 事務局長任免の承認に関する件
   事務局長に角谷敬二郎氏の任用（令和４年７月１日付）を承認
3. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

③　令和５年３月１日（水）　於：大阪市　第一大阪港ビル８階会議室

1. 令和５年度事業計画（案）及び収支予算（案）の承認に関する件
2. 「処務規程」の一部改正の承認に関する件
3. 会員資格取得(入会)の承認に関する件
   金本運輸(株)　様、ダゼロ(株)　様(株)、トラベルニュース社　様、(株)ナニワ　様の会員資格取得（入会）を承認
4. 報告事項：代表理事及び業務執行理事の職務執行状況報告

（３）監査

1. 令和４年４月８・11 日（金・月）　於：大阪市　当協会事務所
   当協会監事による令和３年度事業並びに収支状況の監査

（４）その他

①　内閣府申請事項

1. 令和４年５月 20 日　事業報告等に係る提出書（令和３年度）
2. 令和４年５月 25 日　変更届出書（任期満了に伴う役員の改選）
3. 令和４年６月 22 日　変更届出書（役員の辞任）
4. 令和５年３月６日　事業計画書等に係る提出書（令和５年度）

②　大阪法務局法人登記事項

1. 令和４年５月 18 日　変更登記申請書（理事、代表理事、監事の変更）
2. 令和４年６月８日　変更登記申請書（理事の変更）

令和４年度　決算報告書

自　　令和４年４月　１日

至　　令和５年３月３１日

公益社団法人　近畿海事広報協会

令和4年度　決算報告書

公益社団法人 近畿海事広報協会

（1）　貸借対照表

令和5年3月31日現在

（単位:円）

科　　目	当年度(A)	前年度(B)	増　減(A-B)
Ⅰ　資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,927,728	5,039,009	-1,111,281
前払金	129,900	123,900	6,000
未収金	0	0	0
立替金	100,000	95,000	5,000
流動資産合計	4,157,628	5,257,909	-1,100,281
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
事業特別積立資産	5,000,000	5,000,000	0
(2) その他固定資産			
事務所契約敷金	362,550	362,550	0
固定資産合計	5,362,550	5,362,550	0
資産合計	9,520,178	10,620,459	-1,100,281
Ⅱ　負債の部			
1. 流動負債			
未払金	226,600	0	226,600
前受金	100,000	1,540,000	-1,440,000
預り金	60,712	52,488	8,224
流動負債合計	387,312	1,592,488	-1,205,176
2. 固定負債			
	0	0	0
固定負債合計	0	0	0
負債合計	387,312	1,592,488	-1,205,176
Ⅲ　正味財産の部			
1. 一般正味財産	9,132,866	9,027,971	104,895
（うち特定資産への充当額）	(5,000,000)	(5,000,000)	(0)
正味財産合計	9,132,866	9,027,971	104,895
負債及び正味財産合計	9,520,178	10,620,459	-1,100,281

（注）「公益法人会計基準」の運用方針（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会）を適用して作成している。

（2） 正味財産増減計算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

（単位：円）

科　　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備　　考
Ⅰ　一般正味財産増減の部				
1．経常増減の部				
(1) 経常収益				
特定資産運用益	90	240	-150	
特定資産受取利息	90	240	-150	
受取会費	8,290,000	8,260,000	30,000	
普通会員	8,040,000	8,010,000	30,000	
その他の会員	250,000	250,000	0	特別会員、賛助会員
事業収益	6,123,000	4,483,000	1,640,000	
受託事業収益	4,393,000	4,363,000	30,000	日本海事広報協会 日本モーターボート競走会
協賛金収益	1,730,000	120,000	1,610,000	海の日祝賀会等
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	37,892	40,907	-3,015	
受取利息	44	59	-15	
雑収益	37,848	40,848	-3,000	日本海事広報協会等
経常収益計	14,450,982	12,784,147	1,666,835	
(2) 経常費用				
事業費	12,182,332	10,348,175	1,834,157	
制作費	133,000	133,000	0	海の月間関係
イベント開催費	1,234,389	125,803	1,108,586	海の日祝賀会等
広報宣伝物費	1,229,159	987,899	241,260	海事広報資料作成・購入
表彰費	365,440	369,947	-4,507	各種コンクール関係
給料手当	2,800,000	2,800,000	0	
事務局嘱託料（給料手当）	1,200,000	1,200,000	0	
臨時雇賃金	860,500	848,000	12,500	
福利厚生費	476,416	233,181	243,235	
会議費	25,112	18,795	6,317	
旅費交通費	384,760	297,592	87,168	通勤費を含む
通信運搬費	514,748	543,280	-28,532	
消耗品費	282,704	244,439	38,265	
印刷製本費	661,925	774,525	-112,600	
賃借料	815,072	688,392	126,680	船賃・バス・借室料等
事務管理費(賃借料)	685,000	685,000	0	借室料等
保険料	58,208	44,483	13,725	
諸謝金	210,000	210,000	0	審査料等
支払負担金	63,000	5,000	58,000	共催行事等
支払助成金	120,000	90,000	30,000	各地区海の月間行事等
雑費	62,899	48,839	14,060	

科　　目	当年度(A)	前年度(B)	増減(A-B)	備　　考
管理費	2,163,755	1,838,544	325,211	
給料手当	700,000	700,000	0	
臨時雇賃金	293,750	273,500	20,250	
福利厚生費	119,104	58,296	60,808	
会議費	303,102	175,127	127,975	総会・理事会等
旅費交通費	75,990	72,558	3,432	通勤費等
通信運搬費	191,887	139,430	52,457	
消耗品費	102,525	61,110	41,415	
印刷製本費	91,365	57,763	33,602	
賃借料	124,528	123,568	960	借室料・共益費等
支払負担金	130,000	130,000	0	各種会費等
雑費	31,504	47,192	-15,688	
経常費用計	14,346,087	12,186,719	2,159,368	
当期経常増減額	104,895	597,428	-492,533	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計				
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計				
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	104,895	597,428	-492,533	
一般正味財産期首残高	9,027,971	8,430,543	597,428	
一般正味財産期末残高	9,132,866	9,027,971	104,895	
Ⅱ　指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
Ⅲ　正味財産期末残高	9,132,866	9,027,971	104,895	

(注) 「公益法人会計基準」の運用方針(平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会)を適用して作成している。

(3) 正味財産増減計算書内訳表

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

(単位:円)

科　目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合　計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小　計	団体連携	他・共通	小　計		
Ⅰ　一般正味財産増減の部														
1. 経常増減の部														
(1) 経常収益														
特定資産運用益								90	90			0	0	90
特定資産受取利息								90	90					90
受取会費								4,270,000	4,270,000		1,206,000	1,206,000	2,814,000	8,290,000
普通会員								4,020,000	4,020,000		1,206,000	1,206,000	2,814,000	8,040,000
その他の会員								250,000	250,000					250,000
事業収益	1,916,000	147,000	1,610,000	0	0	1,270,000	1,150,000	0	6,093,000	30,000		30,000	0	6,123,000
受託事業収益	1,916,000	147,000	0			1,150,000	1,150,000		4,363,000	30,000		30,000		4,393,000
協賛金収益			1,610,000			120,000			1,730,000			0		1,730,000
受取負担金	0							0	0	0		0	0	0
受取負担金	0								0	0		0		0
雑収益								44	44		37,848	37,848	0	37,892
受取利息								44	44			0		44
雑収益									0		37,848	37,848		37,848
経常収益計	1,916,000	147,000	1,610,000	0	0	1,270,000	1,150,000	4,270,134	10,363,134	30,000	1,243,848	1,273,848	2,814,000	14,450,982
(2) 経常費用														
事業費	2,146,852	147,250	1,317,114	446,913	378,353	1,136,147	1,232,385	4,434,218	11,239,232	642,140	300,960	943,100		12,182,332
制作費		133,000							133,000			0		133,000
イベント開催費			1,194,389						1,194,389	40,000		40,000		1,234,389
広報宣伝物費	161,700						904,420		1,066,120	163,039		163,039		1,229,159
表彰費				67,000	67,000	231,440			365,440			0		365,440
給料手当								2,800,000	2,800,000			0		2,800,000
事務局嘱託料(給料手当)	1,200,000								1,200,000			0		1,200,000
臨時雇賃金	40,000		22,000	171,500	125,500	293,500	8,000	88,000	748,500	112,000		112,000		860,500
福利厚生費								476,416	476,416			0		476,416
会議費			2,040	7,035		16,037			25,112	0		0		25,112
旅費交通費	62,600		8,570			9,630		303,960	384,760	0		0		384,760
通信運搬費	57,360	250	29,175	67,798	51,423	147,291	17,965	210	371,472	143,276	0	143,276		514,748
消耗品費			8,940			6,464		267,300	282,704			0		282,704
印刷製本費	120,380		21,670	63,580	74,100	81,235			360,965		300,960	300,960		661,925
賃借料	316,960							498,112	815,072			0		815,072
事務管理費(賃借料)	71,000	14,000				300,000	300,000		685,000			0		685,000
保険料	58,208								58,208			0		58,208
諸謝金			30,000	70,000	60,000	50,000			210,000			0		210,000
支払負担金									0	63,000		63,000		63,000
支払助成金									0	120,000		120,000		120,000
雑費	58,644		330		330	550	2,000	220	62,074	825	0	825		62,899

科　目	公益目的事業会計									相互扶助等事業会計			法人会計	合　計
	海の教室	海の月間	海の表彰	海の絵画	海の作文	海の写真	海事知識	公・共通	小　計	団体連携	他・共通	小　計		
管理費													2,163,755	2,163,755
給料手当													700,000	700,000
臨時雇賃金													293,750	293,750
福利厚生費													119,104	119,104
会議費													303,102	303,102
旅費交通費													75,990	75,990
通信運搬費													191,887	191,887
消耗品費													102,525	102,525
印刷製本費													91,365	91,365
賃借料													124,528	124,528
支払負担金													130,000	130,000
雑費													31,504	31,504
経常費用計	2,146,852	147,250	1,317,114	446,913	378,353	1,136,147	1,232,385	4,434,218	11,239,232	642,140	300,960	943,100	2,163,755	14,346,087
当期経常増減額	-230,852	-250	292,886	-446,913	-378,353	133,853	-82,385	-164,084	-876,098	-612,140	942,888	330,748	650,245	104,895
2. 経常外増減の部														
(1) 経常外収益														
経常外収益計														
(2) 経常外費用														
経常外費用計														
当期経常外増減額														
他会計振替額								165,374	165,374		-165,374	-165,374		0
当期一般正味財産増減額	-230,852	-250	292,886	-446,913	-378,353	133,853	-82,385	1,290	-710,724	-612,140	777,514	165,374	650,245	104,895
一般正味財産期首残高														9,027,971
一般正味財産期末残高														9,132,866
Ⅱ　指定正味財産増減の部														
当期指定正味財産増減額														
指定正味財産期首残高														
指定正味財産期末残高														
Ⅲ　正味財産期末残高														9,132,866

（注）1、「公益法人会計基準」の運用方針（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会）を適用して作成している。
2、経常収益のうち、受取会費（普通会員）は、公益目的事業会計に50％、相互扶助等事業会計に15％、法人会計に35％を按分している。
3、管理費のうち、給料手当・福利厚生費・旅費交通費・消耗品費・賃借料の80％を公益目的事業に按分している。
4、他会計振替額は、相互扶助等事業会計・当期経常増減額（増額の場合のみ）の50％を公益目的事業会計に振り替えている。

（4） 財務諸表に対する注記

令和5年3月31日現在

1. 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会）を適用している。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
事業特別積立資産	5,000,000	0	0	5,000,000
合計	5,000,000	0	0	5,000,000

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

（単位：円）

科　　目	当期末残高	（うち指定正味財産からの充当額）	（うち一般正味財産からの充当額）	（うち負債に対応する額）
特定資産				
事業特別積立資産	5,000,000	(0)	(5,000,000)	
合計	5,000,000	(0)	(5,000,000)	(0)

（5） 附属明細書

1. 特定資産の明細

特定資産の明細については、財務諸表に対する注記に記載しているので、省略した。

(6) 財 産 目 録

令和5年3月31日現在

（単位：円）

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金　額
（流動資産）				
	現金	手元保管	運転資金として	16,531
	預金	普通預金 三井住友銀行	運転資金として	1,497,741
		普通預金 みずほ銀行	運転資金として	1,917,108
		当座預金 ゆうちょ銀行	運転資金として	496,348
	前払金		4月分借室料等 ￥101,850、4.5.6月分海事新聞￥28,050	129,900
	未収金			0
	立替金		4月分借室料等（船災防 ￥60,000、小船工 ￥20,000、海保協 ￥20,000）	100,000
流動資産合計				4,157,628
（固定資産） 特定資産				
	事業特別積立資産	定期預金 三井住友銀行	事業用財産として管理しているもの	5,000,000
その他固定資産				
	事務所契約敷金	大阪港振興（株）	敷金544,550円の約3分の2を負担している	362,550
固定資産合計				5,362,550
資産合計				9,520,178
（流動負債）				
	未払金	広報用グッズ		226,600
	前受金	事務局嘱託料	日本海事広報協会3月分	100,000
	預り金	雇用保険料		0
		源泉所得税	従業員から預かったもの	21,504
		社会保険料	従業員から預かったもの	39,208
流動負債合計				387,312
（固定負債）				0
固定負債合計				0
負債合計				387,312
正味財産				9,132,866

（注）「公益法人会計基準」の運用方針（平成20年4月11日、改正平成21年10月16日、内閣府公益認定等委員会）を適用して作成している。

監　査　報　告　書

公益社団法人 近畿海事広報協会

会長　間嶋　弘　殿

令和4年度の業務及び財産の状況について監査を行いましたので、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第99条第1項の規定に基づき下記のとおり報告します。

記

１、業務状況の監査結果

事業報告書は、法令及び定款に従い、当協会の事業の状況を正しく示していると認めます。

また、理事の業務執行について、不正の行為や法令及び定款に違反する事実は認められませんでした。

２、財産状況の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、当協会の財産及び損益の状況を適正に示していると認めます。

令和5年4月7日

公益社団法人 近畿海事広報協会

監　事　　間口　　敦生　　㊞

令和5年4月10日

公益社団法人 近畿海事広報協会

監　事　　髙橋　　健一　　㊞